

備前市施策評価シート

(平成22年度事業)

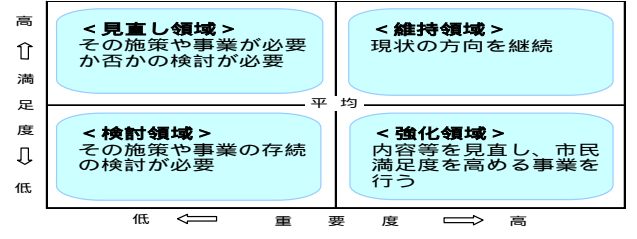
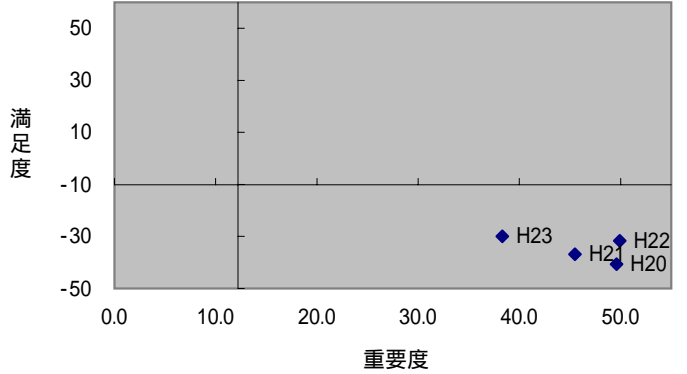
施策名 (小項目)	その他事務管理(監査委員)	コード	06-01-20	作成者	役職 監査事務局長
				氏名	草加道也
				電話	0869-64-1839
				このシート作成に要した時間	3.0 時間

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	基本目標(大項目)	健全で自立したまちづくり
	基本施策(中項目)	簡素で効率的な行政運営
対象と目的 (誰のために、何のために)	市の行政執行の適法性、効率性、妥当性を検証し、その結果を市民等に公表することにより、公正で合理的かつ効率的な行政運営が図られることを目的とする。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	厳しい財政状況に加え、少子高齢化、市民要望の多様化、高度化が進む中で、限られた資源(金、人、モノ)を効果的、効率的に活用し、公正で合理的な行政運営が求められている。市民の行政に対する信頼の確保を図るうえで、監査体制の強化と監査機能の充実及び情報の公開が重要である。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令監査、検査、審査の事務事業の推進</li> <li>監査結果の公表</li> <li>監査機能の充実</li> </ul>	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H20	H21	H22	H23
重要度(%)	49.6	45.5	49.9	38.3
満足度(%)	-40.7	-36.8	-31.7	-30.0



調査結果に対するコメント、市民の反応等	地方自治法等で規定されている監査委員制度(事務事業)であり、今後とも継続して行わなければならない事業である。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H20	H21	H22		H23	H28
成果指標 定期監査の実施率	目標	%	33.3	33.3	33.3	H23	50.0
	実績	%	32.1	34.6	35.1	H28	50.0
	達成率	%	96.4	103.9	105.4	-	-
	ベンチマーク						
参考指標 財政援助団体等の監査の実施件数	目標	件	2.0	2.0	2.0	H23	2.0
	実績	件	2.0	2.0	2.0	H28	2.0
	達成率	%	100.0	100.0	100.0	-	-
	ベンチマーク						
参考指標 工事監査の実施件数	目標	件	2.0	2.0	2.0	H23	2.0
	実績	件	2.0	2.0	2.0	H28	2.0
	達成率	%	100.0	100.0	100.0	-	-
	ベンチマーク						
参考指標 例月現金出納検査の実施回数	目標	回	12.0	12.0	12.0	H23	12.0
	実績	回	12.0	12.0	12.0	H28	12.0
	達成率	%	100.0	100.0	100.0	-	-
	ベンチマーク						

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)										施策への 貢献度	
				平成20年度				平成21年度			平成22年度				平成23年度
				直接 事業費	人件費	人工数		直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数		当初予算 (直接事業費)
1 監査委員事務	B	例月現金出納検査業務	法定	511	4,097	0.42	455	3,788	0.39	490	5,915	0.68	491	* 法定事務	
		決算等審査業務	法定	449	3,216	0.37	524	3,935	0.45	526	6,275	0.73	527	* 法定事務	
		定期監査業務	法定	340	2,470	0.28	280	2,128	0.24	339	4,054	0.47	339	* 法定事務	
		財政援助団体等監査業務	法定	85	594	0.07	128	957	0.11	173	1,951	0.24	173	* 法定事務	
		請求に基づく監査業務	法定	194	1,465	0.16	128	988	0.11	58	708	0.08	58	* 法定事務	
		随時監査業務	法定	147	670	0.08	190	1,033	0.12	156	1,252	0.15	171	* 法定事務	
		全国都市監査委員会負担金	内部管理	22	0	0.00	22	0	0.00	20	0	0.00	20		
		西日本都市監査委員会負担金	内部管理	3	0	0.00	3	0	0.00	3	0	0.00	3		
		中国都市監査委員会負担金	内部管理	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0		
		県都市監査委員会負担金	内部管理	257	1,327	0.15	226	654	0.07	140	524	0.06	108		
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				平成20年度		平成21年度			平成22年度			平成23年度			
				2,008	13,839	1.53	1,956	13,483	1.49	1,905	20,679	2.41	1,890		

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
総務課	個別外部監査事業	外部の専門的な知識を有する者との契約に基づく監査を行い、監査機能の専門性、独立性を強化し、監査機能に対する市民の信頼を高める。

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
<成果指標の妥当性> 1 施策の目的・成果を表現しているか?	4	定期監査の実施率を向上させることは、監査の頻度を上げ、財務事務の執行、経理事務の管理における適法性、効率性、妥当性の向上につながるため、成果指標として妥当である。	
<事業構成の妥当性> 2 手段は最適か?	4	施策構成の事務事業は、監査・検査・審査の法定事務と監査に関する情報収集、調査研究、研修、資料提供等のための委員会加入負担金である。施策目標を達成するために欠かせない事業であることから、適当である。	
<施策の有効性> 3 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	評価年度は、全ての指標で目標を達成した。中長期については、成果指標の目標値を上げているが、目標達成が可能となるよう監査の視点の検討や、事前調査の徹底が必要となる。	
進行年度(H23年度)の取組内容 (課題解決状況)		各部署の定期監査の実施を、3年周期から2年周期とし、監査の実施頻度を上げることにより、公正で合理的かつ能率的な行政運営を指導する。また、監査の結果についての措置状況の報告を各部署に求め、公表し、市民の信頼の確保に努める。監査能力向上のため、積極的に研修に参加し、職員のスキルアップを図る。	
翌年度(H24年度)の取組目標		内部統制の整備、運用のための業務フローを作成する。また、効率的な監査を実施するため、十分な事前調査、適切な資料収集に努める。監査の充実、強化に欠かせない職員の能力向上のため、研修に積極的に参加する。	
二次評価者コメント 役職 監査事務局長 氏名 草加道也		定期監査、随時監査の実施により、市の行政執行の適法性、効率性、妥当性を検証し、その結果を市民等に公表することにより、信頼確保に努めている。また、公正で合理的かつ効率的な行政運営が図れるよう、監査結果に基づき是正を必要とする事項は改善の指摘を行い、また、意見の提出を行っており、貢献度は高い。 総務省は、現在、地方行政検討会議を主催し、地方自治法改正案に、現行の監査委員制度の廃止を前提とした自治体内部と外部の監査の在り方を盛り込むべく議論を重ねており、今後の同省や全国自治体の動向を注視していく必要がある。	
		基本施策への 貢献度  4 やや高い	